

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第3部門第3区分  
 【発行日】平成22年2月18日(2010.2.18)

【公表番号】特表2009-521590(P2009-521590A)  
 【公表日】平成21年6月4日(2009.6.4)  
 【年通号数】公開・登録公報2009-022  
 【出願番号】特願2008-548606(P2008-548606)  
 【国際特許分類】

C 0 8 L 69/00 (2006.01)

C 0 8 K 3/32 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 69/00

C 0 8 K 3/32

【手続補正書】

【提出日】平成21年12月18日(2009.12.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

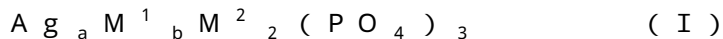
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

芳香族ポリカーボネート樹脂および式(I)



(式中、 $M^1$ はアルカリ金属イオン、アルカリ土類金属イオン、アンモニウムイオンおよび水素イオンからなる群から選択される少なくとも一種のイオンであり、 $M^2$ はTi、ZrおよびSnからなる群から選択される四価金属であり、aおよびbは正の数であり、かつ $a + m b = 1$ であり、mは $M^1$ の原子価である。)

の抗菌性化合物0.01~3.8パーセントを含有し、パーセントがポリカーボネートの重量に対する、透明熱可塑性成形組成物。

【請求項2】

該抗菌性化合物が0.1~3.5パーセントの量で存在する、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

抗菌性化合物が $A g_{0.005} L i_{0.995} Z r_2 (P O_4)_3$ ;  $A g_{0.01} (N H_4)_{0.99} Z r_2 (P O_4)_3$ ;  $A g_{0.05} N a_{0.95} Z r_2 (P O_4)_3$ ;  $A g_{0.2} K_{0.8} T i_2 (P O_4)_3$ ;  $A g_{0.1} H_{0.9} Z r_2 (P O_4)_3$ ;  $A g_{0.05} H_{0.05} N a_{0.90} Z r_2 (P O_4)_3$ ; および  $A g_{0.05} H_{0.55} N a_{0.40} Z r_2 (P O_4)_3$  からなる群から選択される一員である、請求項1に記載の組成物。

【請求項4】

抗菌性化合物が



(式中、 $x + y + z = 1$ である。)

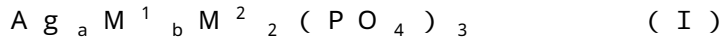
である、請求項1に記載の組成物。

【請求項5】

請求項1の組成物を含有する製品。

【請求項6】

芳香族ポリカーボネート樹脂および式 ( I )



( 式中、 $M^1$  はアルカリ金属イオン、アルカリ土類金属イオン、アンモニウムイオンおよび水素イオンからなる群から選択される少なくとも一種類のイオンであり、 $M^2$  はTi、ZrおよびSnからなる群から選択される四価金属であり、aおよびbは、正の数であり、かつ $a + m b = 1$ であり、mは $M^1$ の原子価である。)

の抗菌性化合物0.1～3.5パーセントを含有し、該パーセントがポリカーボネートの重量に対し、前記組成物がベンゾトリアゾールを含まない、透明熱可塑性成形組成物。

【請求項7】

抗菌性化合物が  $A g_{0.005} L i_{0.995} Z r_2 ( P O_4 )_3$  ;  $A g_{0.01} ( N H_4 )_{0.99} Z r_2 ( P O_4 )_3$  ;  $A g_{0.05} N a_{0.95} Z r_2 ( P O_4 )_3$  ;  $A g_{0.2} K_{0.8} T i_2 ( P O_4 )_3$  ;  $A g_{0.1} H_{0.9} Z r_2 ( P O_4 )_3$  ;  $A g_{0.05} H_{0.05} N a_{0.90} Z r_2 ( P O_4 )_3$  ; および  $A g_{0.05} H_{0.55} N a_{0.40} Z r_2 ( P O_4 )_3$  からなる群から選択される一員である、請求項6に記載の組成物。

【請求項8】

抗菌性化合物が



( 式中、 $x + y + z = 1$ である。)

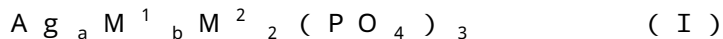
である、請求項6に記載の組成物。

【請求項9】

請求項6に記載の組成物を含有する製品。

【請求項10】

芳香族ポリカーボネート樹脂および式 ( I )



( 式中、 $M^1$  はアルカリ金属イオン、アルカリ土類金属イオン、アンモニウムイオンおよび水素イオンからなる群から選択される少なくとも一種類のイオンであり、 $M^2$  はTi、ZrおよびSnからなる群から選択される四価金属であり、aおよびbは正の数であり、かつ $a + m b = 1$ であり、mは $M^1$ の原子価である。)

の抗菌性化合物0.1～3.5パーセントを含有し、パーセントが該ポリカーボネートの重量に対する、高い透明度に優れる熱可塑性成形組成物であって、前記組成物がベンゾトリアゾールを含まず、前記透明度がISO 12233規格によって0.1"厚の平らな試験片において1インチあたり少なくとも211ラインと決定される、熱可塑性成形組成物。